

## 2014年度活動成果：

### 有期雇用期間延長の実施を2月から！

有期雇用（主にパートタイム職員）の任期を撤廃する運動を続けていましたが、2013年4月の労働契約法改正により無期労働契約への転換が5年を超えた場合となったため、契約期間を3年から5年とすることを要求していました。このような背景の中、契約期間を5年とする変更が出されたので合意しましたが、2015年4月からという提案だったため、2015年2月から実施できるように求め、実現しました。2015年3月に契約期間3年を迎える方に間に合わせることができました。

#### 【全大教第48回定期大会報告】

出席者：70名  
 (傍聴、関係者含め総計109名)

出席単組：64 (大学、高専)

7月11日(土)、12日(日)の両日、東京・大崎で開催されました定期大会について、ご報告します。本組合から富重執行委員が代議員として、井本(前)書記長が中央執行委員として出席しました。

未払い賃金訴訟裁判では、現在、全国11単組が訴訟中であり、福岡教育大学、京都大学、高エネ研はいずれも原告請求棄却の判決でした。現在、控訴中です。

非正規雇用の労働条件改善への取組みにおいては、信州大で、一定の人事評価制度などに基づく無期雇用への転換の制度を実現した、大阪大では、法人化前からの有期雇用職員の雇い止め阻止に対して全国の大学法人から支援があったことなど、非正規職員を取り巻く現状は、今後注視する必要を感じました。

なお、今後、大学改革における大きな問題として、大学はより社会に実践的な人材を輩出するとして、「実践的職業教育機関創設」への方向性が示され、その中で、「教員養成系学部・大学院、

人文社会系学部・大学院の廃止を含む見直し、他分野への転換」ということが、第3期中期目標に求められる事態となっています。

今大会にて、井本中央執行委員（九工大組合）が退任されることとなり、大会終了後、慰労会を兼ねて懇親会が行われました。井本さん、お疲れ様でした。

(文責：富重)



#### 【新執行委員会がスタートしました】

6月30日の定期大会で2015年度の役員が決まりました。7月から新メンバーにて活動を開始致します。

昨年度は、有期雇用期間延長開始期間を早めるという成果をあげました。今年度も安全な職場、自由な職場、働きがいのある職場作りを目指して、執行委員一同精一杯尽力致しますので、よろしくお願い致します。

委員長：坂本 順司(教育職員：情・生命情報工学研究系)

副委員長：楊 世淵(教育職員：工・電気電子工学研究系)

\*\*\*\*\*

#### ■ □ ■ 組合員随時募集中 ■ □ ■

**\*\* [kitunion@ninus.ocn.ne.jp](mailto:kitunion@ninus.ocn.ne.jp) \*\* ←このアドレス、ご存知ですか？**

このアドレスに出されたメールは、執行委員にのみ届きます。

希望しない限り、組合員へ公開されることはありません。

組合への要望、職場で困っている事、何でも結構です。みなさんの声をお寄せ下さい！

書記長 : 富重 秀樹(技術職員:情・飯塚キャンパス技術部)  
書記次長: 伊東 智延(技術職員:工・戸畑・若松キャンパス技術部)  
執行委員: 新田 益大(教育職員:工・機械知能工学研究系)  
孫 勇(教育職員:工・先端機能システム工学研究系)  
アブドゥハン 恭子(教育職員:工・人間科学系)  
原田 勝也(技術職員:工・戸畑・若松キャンパス技術部)  
山崎 裕子(技術職員:情・飯塚キャンパス技術部)

## 【本年度活動方針】

平成26年12月25日に、給与制度の総合的見直しということで、就業規則等が改正されました。これにより、今後3年間に渡り、給与体系の大幅な変革をむかえます。

また、第三期中期目標も控え、運営交付金の在り方についても検討されている中、これ以上の給与削減や労働環境の悪化は、教育研究への影響が大きいと考えます。

そこで、本年度も賃下げに反対し、労働環境の改善を目指して、「昇給・昇格の改善」「パートタイム職員の雇用期限撤廃」「定年延長」などを中心に活動していきます。詳しくは大会議案書にてご確認ください。

<http://homepage2.nifty.com/bahobaho/kitunion/taikai/2015/>

## 【新執行委員長あいさつ】

今月から執行委員長を務める坂本順司です。慣れない役目で、新旧執行委員の皆さんから教へと助けを受け、組合員の皆さんのご意見を聞きながら活動しますので、よろしくお願ひします。

さて、格差問題で最近話題になったトマー・ピケティ著『21世紀の資本』を読みました。数量的エビデンスにしっかり基づく議論で、理工系の皆さんにもなじめるでしょう。この本によると、「富の大半がごく一部の人間(1%以下)に集中する」という極度な格差の拡大と固定は、一過性の現象でも前代未聞の事態でもなく、データの示す限り長い歴史に通底する問題のようです。むしろ20世紀の半ばだけが、資産や所得の格差が緩和され階層構造が流動化した例外的な期間であり、'80年代以降から18-19世紀的な社会状況に回帰しつつあるように見えます。

そのような「幸福な例外」の時期に、逆説的に「99%の団結の意識」が人々の心からしだいに見失われ、やがてわが職員組合の組織率も低下したとつなげるのは、牽強付会に過ぎるでしょうか。いや、国立大学が独立法人化され、職員の身分が国家公務員ではなくなった今こそ、組合に再結集すべき時ではないかと思われまふ。誰もが個性的な力を発揮し、平等に幸せを追求するためには、「働く者の結束」という土台が必要ではないでしょうか。

お近くの教職員にも、組合加入のお誘いかけをお願いします。

## 【お知らせ下さい】

ご本人の結婚・出産・長期療養、一親等ご家族のご不幸など慶弔事があった場合は、組合から慶弔金をお支払いしますので、お早めにお近くの執行委員もしくは組合のメールアドレス「kitunion@ninus.ocn.ne.jp」へご連絡下さい。

## 【組合員の皆様へ】

組合からメールが届かない、または、以前届いていたが最近届かなくなったという方は、執行委員までお知らせ下さい。

\* - \*

## ■ □ ■ 組合員随時募集中 ■ □ ■

**\*\* [kitunion@ninus.ocn.ne.jp](mailto:kitunion@ninus.ocn.ne.jp) \*\* ←このアドレス、ご存知ですか？**

このアドレスに出されたメールは、執行委員にのみ届きます。

希望しない限り、組合員へ公開されることはありません。

組合への要望、職場で困っている事、何でも結構です。みなさんの声をお寄せ下さい！